



海外で豊かな経験を生かす

9/18 国際協力機構(JICA)派遣隊員が表敬訪問

国際協力機構(JICA)のシニアボランティアとして2年間、ブータンに派遣される寺越寛さん(穂高柏原)が9月18日、宮澤市長を訪ね、出発前のあいさつをしました。寺越さんは、企業で公害防止や環境保護対策に長年携わった経験を生かして、首都ティンブー市役所で一般ごみの最終処分場運営や分別収集の定着に取り組み、職員への助言や指導をします。同国では、近年、近代化による廃棄物対策が課題となっており、寺越さんは「気負わず、現地の若者と共に取り組みたい」と抱負を述べました。



命の大切さ 触れ合いながら学ぶ

9/23 動物愛護フェスティバル2013

動物の愛護や正しい育て方への関心と理解を深めることを目的とした「動物愛護フェスティバル2013 インあづみ野」(同実行委員会主催)が9月23日、三郷文化公園で開かれました。当日は、犬のしつけ方教室や小動物との触れ合いコーナーなどが設けられ、市民など約1万6000人が訪れました。母親と訪れた望月優希さん(堀金小2年)は「動物との触れ合いを楽しみにして来ました。乗馬などを体験しましたが、中でも災害救助犬の実演が面白かったです」と話してくれました。

15 広報 あづみの 2013.10.23

秋晴れの中、子どもたちの歓声響く

9/14・21 市内小学校運動会

市内各小学校で9月14日・21日、運動会が行われました。

14日に行われた明科中川手の明南小学校(児童297人)では、かけっこや高学年による騎馬戦が行われたほか、穂高の穂高南小学校(児童549人)では綱引きやダンスの披露などが行われました。

秋晴れの中、各学校の子どもたちは、クラスの仲間や家族からの声援を受けて力いっぱい競技をしていました。



穂高南小(左)、明南小(右上、右下)

安曇野の力 全国へ、そして世界へ

9/12・25 スポーツ国際大会・全国大会選手表敬訪問

スポーツの国際大会や全国大会に出場を控えた選手の皆さんが宮澤市長を表敬訪問しました。各選手は出場にあたり自己ベストやメダル獲得などを目標に掲げました。9月25日から5日間、マレーシアで行われたサッカー(16歳以下)のアジア選手権予選大会の日本代表メンバーとして選出された麻田将吾くんは「まずは試合に出場して自分の力を発揮し、点に絡むプレーをしたい」と意気込みを話してくれました。

【訪問した皆さん】(敬称略)

9月12日

アジアサッカー連盟 U-16 選手権 2014 予選グループJ・U-15 日本代表(9月25日～29日・マレーシア)

麻田将吾(豊科北中3年・アルフット安曇野ジュニアユース) ※同大会は2015年サッカーワールドカップ(17歳以下)予選大会につながる大会

9月25日

第13回全国障害者スポーツ大会(10月12日～14日・東京都)アーチェリー 市川光雄(三郷明盛)、陸上競技 高野隆洋(豊科南穂高)、卓球 道田久美子(三郷明盛)、サウンドテーブルテニス 山本真由香(豊科南穂高)、フライングディスク 平川太智(豊科田沢)、ボウリング 三浦怜(穂高有明)



秋の風物詩 白熱のレース

9/29 第45回安曇野観光草競馬大会

第45回安曇野観光草競馬大会(安曇野競馬愛好会主催)が9月29日、市営牧運動場で開催されました。秋晴れの空の下、県内外から集った競走馬・ポニー・農耕馬など約50頭が元気よく出走。白熱したレース展開に、観客席からは大きな声援が送られました。

会場には、ポニーの乗馬や馬車体験、動物とのふれあいコーナーも開設され、家族と訪れた大原正明さん(豊科)は「動物と触れ合える貴重な機会。子どもたちも喜んでいました」と話しました。

この日は約2,500人が来場。安曇野の秋の一日を満喫しました。



100歳の節目 県知事が祝う

9/16 高齢者祝賀知事訪問

「敬老の日」の9月16日、本年11月に100歳を迎える小平吉一さん(豊科)宅を阿部守一長野県知事が訪れ、国と県からの祝い状などを手渡しました。耳が少し遠い小平さんに代わり、家族の皆さんが日々の様子を阿部知事に説明。毎日決まった時間に食事を取るなど様子を聞き、阿部知事は「これからもお元気で、体をいたわってください」と声を掛けていました。

市では、市内男女最高齢者をはじめ、本年度、88歳を迎える男女535人と100歳を迎える男女30人に祝い品を贈り、長寿を祝いました。

2013.10.23 広報 あづみの 14